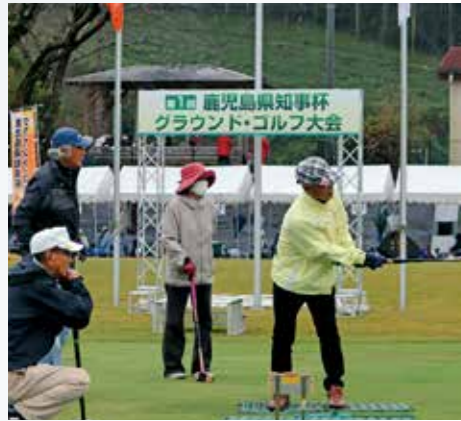


県政トピックス

10/17 [土] 第1回鹿児島県知事杯グラウンド・ゴルフ大会



▲ 真剣な表情でボールの行方を見つめる参加者ら



▲ 地域のおどり太鼓も披露され、大会を盛り上げた

10月17日(土)に、薩摩川内市の樋脇グラウンド・ゴルフ場で、第1回鹿児島県知事杯グラウンド・ゴルフ大会を開催しました。

本大会は、グラウンド・ゴルフを通じて、幅広い年齢層の方々がスポーツに親しみ、健康増進や交流人口の拡大・地域活性化を図ることを目的に開催しました。

当日は、県内各地から128チーム、640名が参加され、歓喜と声援の中、生き生きとプレーされていました。

また、会場では地元特産品などの販売も行われ、お土産を買い求める参加者で大変にぎわいました。

県では、引き続き、スポーツを通じて県民の健康増進を図るとともに、交流人口の拡大や地域活性化に取り組んでまいります。

10/26 [月] 奄美大島及び徳之島の世界自然遺産推薦地における保全管理のための連携と協力に関する協定締結



▲ 保全管理のための連携と協力を確認した4者



▲ オンラインも活用した協定締結式

県と環境省沖縄奄美自然環境事務所、国立大学法人鹿児島大学、国立研究開発法人国立環境研究所の4者による「奄美大島及び徳之島の世界自然遺産推薦地における保全管理のための連携と協力に関する協定」を締結しました。

この協定により、自然環境・文化などに関する科学的な知見の蓄積や長期的なモニタリング体制の整備、地域での人材育成が進み、遺産推薦地などにおける、世界自然遺産登録後を見据えた保全管理に寄与することが期待されます。

今後とも、地元市町村、関係団体などとも連携し、世界自然遺産登録に向けて取り組んでまいります。

10/12 [月] 株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングスとの県産品の海外販路拡大等に関する連携協定締結



▲ 海外販路拡大などの協定を締結した塩田知事と松元常務



▲ シンガポール店舗でのさつまいもの販売状況

県では、株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングスと、小売店との間では本県初となる県産品の海外販路拡大を目的とした連携協定を締結しました。

国内で「ドン・キホーテ」を運営する同社は、東南アジアで、本県産のさつまいもを主力商品として、日本産の品質にこだわった商品を提供するスーパーを展開し、現在シンガポールや香港などで急速に事業拡大をしています。

今後は、同社と連携した定期的な海外フェアや商談会の開催などを通じて、県産農林水産物のさらなる輸出拡大に向けた取り組みを進めてまいります。

11/3 [火] 11/8 [日] 11/26 [木] 11/30 [月] かがしま遊楽館「25周年誕生祭」



▲ 多くの来館者でにぎわう館内



▲ 所在地:東京都千代田区有楽町1-6-4

東京・有楽町にある鹿児島県のアンテナショップ「かがしま遊楽館」の誕生祭を開催しました。

「かがしま遊楽館」は1995(平成7)年5月30日にオープンし、25周年を迎えました。節目の年である2020年は、大規模なイベントを企画していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、イベントを複数回に分けるなど、感染防止を意識した開催となりました。

さつまいもをはじめ旬の農産物の特別販売や抽選会などを行い、館内は多くの来館者でにぎわいを見せました。

また、期間中は1階から3階の各店舗で特別企画を展開し、鹿児島島の食や文化などを大いにアピールしました。3回目の最終回は今年2月に予定しています。

10/13 [火] 鶴田玲美選手表敬訪問



▲ 200メートル優勝、100メートル2位の二つのメダルを掛けた鶴田選手



▲ 優勝を報告する鶴田選手

10月3日(土)に、新潟市で行われた日本陸上競技選手権大会の女子200メートルにおいて、鹿児島市出身の鶴田玲美選手が見事、優勝しました。

県庁を訪れた鶴田選手からは、「陸上競技協会や職場の方々から、これまで多くのサポートをいただき、今回の優勝につながった。日本選手権の決勝では、緊張もしたが、これまでの練習の積み重ねがあったので、自信を持ってスタートラインに立つことができた」との周囲への感謝の言葉と併せ、力強い言葉がありました。

塩田知事は、「3年後のかがしま国体、その翌年の佐賀大会での活躍を期待しています」と激励しました。

11/2
[月]

令和2年度県民表彰式

県では、県民の福祉に貢献し、特に顕著な功績を挙げられた個人や団体を「県民表彰」として表彰しています。
本年度の表彰式は11月2日に県議会本会議場で挙行了しました。



▲前列左から平安さん、別府さん、三木さん、塩田知事、今林さん、森山さん

《地方自治部門》

平安 正盛さん
ひらやま せいせい

〔元 知名町長〕

知名町長として、5期20年の長きにわたり、町勢の発展と住民福祉の向上のみならず、奄美群島全体の振興にも尽力されるとともに、県町村会会長を歴任されるなど、本県の地方自治の伸張に貢献されました。

《保健福祉部門》

別府 則夫さん
べつぷ のりお

〔元 鹿児島県手をつなぐ育成会理事長〕

県手をつなぐ育成会理事長として、長年にわたり知的障害者の自立と社会参加の促進を図るとともに、東日本震災義援活動等に取り組むなど、知的障害者の支援および本県の社会福祉の向上に貢献されました。

《教育文化スポーツ部門》

三木 靖さん
みき やすし

〔元 鹿児島県文化財保護審議会会長〕

県文化財保護審議会会長として、73件の文化財の県指定や国指定に取り組みとともに、鶴丸城御楼門建設協議会専門家委員会委員長として御楼門の忠実な復元に尽力されるなど、本県の文化財保護に貢献されました。

《産業経済部門》

今林 重夫さん
いまはやし じゅうお

〔元 鹿児島県商工会議所連合会副会長〕

県商工会議所連合会副会長として、県内商工会議所の健全な運営と商工業の発展に取り組むとともに、指宿商工会議所会頭として「いぶすきシール会」を発足させるなど、本県の産業・地域経済の発展に貢献されました。

森山 清隆さん
もりやま きよたか

〔元 鹿児島県技能士会連合会会長〕

県技能士会連合会会長として、県内の技能者の資質向上を図るとともに、県タイ尔工業協同組合理事長として全国で初めてとなる「ジュニアマイスター教室」を創設されるなど、本県のタイ尔工業の発展に貢献されました。

11/7
[土]

「新型コロナウイルス感染防止対策実施宣言」店舗確認

県では、新型コロナウイルス感染防止対策のさらなる徹底を推進するために、毎月上旬を「新型コロナウイルス感染防止チェック期間」に設定し、取り組みの一環として、「新型コロナウイルス感染防止対策実施宣言ステッカー」を取得した店舗の現地確認を実施することとしました。

そのスタートとして、11月7日(土)に天文館地区の小売店や飲食店などの現地確認を行い、いずれの店舗などにおいても、事業者の方々が感染防止対策に積極的に取り組んでいることが確認できました。

県としては、引き続き、警戒感をもって感染状況を注視しつつ、感染拡大の防止と社会経済活動との両立を図ってまいります。



▲ 店員から感染防止対策の説明を受ける塩田知事



▲ 入り口での感染防止対策の取り組みのチェック